

＜対策のポイント＞

林業における労働安全の確保、労働負荷の軽減、労働生産性及び収益性の飛躍的な向上を図るため、スマート林業技術の現場実装ビジョン及び木質系新素材の社会実装ビジョンに基づき、**デジタル情報の基盤整備、スマート林業技術の導入環境整備**、フィジカルA I等の先端技術を活用した**スマート林業機械・機器等**や**木質系新素材の開発・実証**、地域一体での**林業DXの実現に向けた活動等**を支援します。

＜事業目標＞

- 地域一体での林業DXの実現に向けた取組の普及（デジタル林業戦略拠点数25〔令和12年度まで〕）
- 地域の木質資源を活用した付加価値の高い木質系新素材の開発・実装（木質系新素材の国産材使用量1万m<sup>3</sup>〔令和12年度まで〕）

＜事業の内容＞

1. スマート林業の推進に向けた基盤・環境整備

A Iにも対応可能な高度化・デジタル化した森林資源情報の情報基盤整備の支援、デジタル技術を活用した林地台帳更新ツールの整備等を実施します。また、林業分野への新技術導入を加速するため、全国規模のプラットフォーム等の機能を有する**森ハブ®の運営支援、安全のためのルール整備**を実施します。

- ① スマート林業の推進に向けたデジタル情報の基盤整備事業
- ② スマート林業技術導入環境整備事業

2. 戦略的技術開発・実証事業

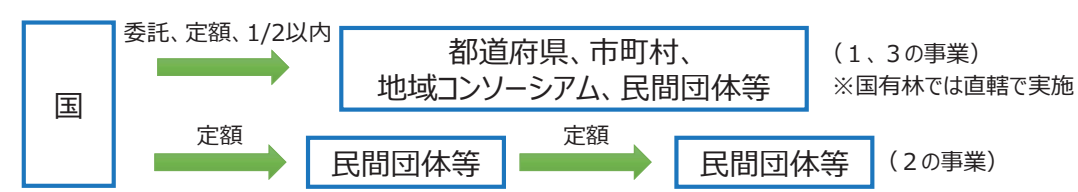
フィジカルA I等の次世代技術を含む**スマート林業機械・機器等**や、地域の木質資源の高付加価値利用に資する**改質リグニンの開発・実証等**を支援します。

3. 林業DX推進対策

地域の多様な関係者が一体となって取り組む**林業DXの実現に向けたデジタル林業戦略拠点構築等**を支援します。

※ 1及び3の一部の事業については、「森の国・木の街」創造連携イニシアティブ事業において都道府県が策定する森の国・木の街創造連携計画（仮称）に基づく取組について、集中的に支援します。

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

